

海況速報

平成 17 年度 第 2 号 (通算 No.104)
平成 17 年 6 月 24 日
北海道立水産試験場



内容についてのお問い合わせは
中央水産試験場 海洋環境部
Tel 0135-23-4020

5 月下旬から 6 月中旬の海況

日本海海域

水温は高め

今回は、函館水試金星丸による日本海スルメイカ調査の観測データも加えて作図しています。前回(4月)非常に優勢であった道西日本海の対馬暖流は、前回に引き続いて流量、水温とも平年より高く経過しています。200m 層を見ると、積丹半島北西方沖 43-45N、139-45E 付近を中心に暖水渦があり、この暖水渦東方の 43-45N、139-30E 付近を中心に冷水渦があります。対馬暖流は青森県鱸作崎沖、茂津多岬沖、積丹半島沖で西へやや蛇行しながら北上しています。水温は平年より高いところが多くなっています。特に、暖水渦の影響を受けた積丹半島西方の観測点 J37(43-30N、139-20E、水温偏差表参照)では、50m 層で 4.0、100m 層で 3.6、200m 層で 1.9 とそれぞれ平年より顕著に高くなっています。水温分布図では見えにくくなっていますが、松前西方の 41-30N、139-50E 付近には観測点が 2 点あります。この 2 点の東の陸側の観測点では、西の沖側より水温が低く(例えば 100m 層 8 以下)になっており、津軽海峡へ向かう南下流に伴って湧昇が発生していると考えられます。

余市における 5 月中旬以降 6 月中旬までの沿岸水温(旬平均)は、5 月中旬に「非常に低い」となりましたが、5 月下旬に「やや低い」となり、以降 6 月中旬まで「平年並み」で推移しています。

道東太平洋海域

暖水塊そのまま

41-00N、145-30E 付近に暖水塊の端が見えています(100m 層で 9 以上)。衛星画像からこの暖水塊の中心部は 40-30N、145-30E 付近にあり前回(4月)とほぼ同じ位置にあります。道東沿岸では 50m 層で 2 以下の沿岸親潮(*1)が断続的に見えており、親潮は襟裳岬南方から暖水塊と津軽暖流の間を南下しています。水温偏差についてみると、暖水塊の周辺で高くなっていますが、ほぼ平年並みの水温となっています。

道南太平洋海域

津軽暖流系水広がる

道南太平洋沿岸域は、津軽暖流系水に広くおおわれ始めています。津軽暖流は渦モード(*2)ではありませんが、襟裳岬南西沖まで張り出して、親潮系水との間に水温フロントを形成しています。200m 層をみると、尻屋崎東方に 9 以上の津軽暖流の渦があります。また、浦河沖でも 200m 層 6 以上の津軽暖流系水が見えています。噴火湾内の 50m 層では沿岸親潮水が 5 台となっています。水温偏差について見ると、水温偏差の高いところが多く、白老沖観測線では前回(4月)に引き続いて平年より 2~3 高いところがあります。津軽暖流の流量の指標となる深浦 - 函館間の水位差を見ると、3 月以降 5 月まで低めに推移しており、津軽暖流流量は平年より少ないようです。

オホーツク海海域

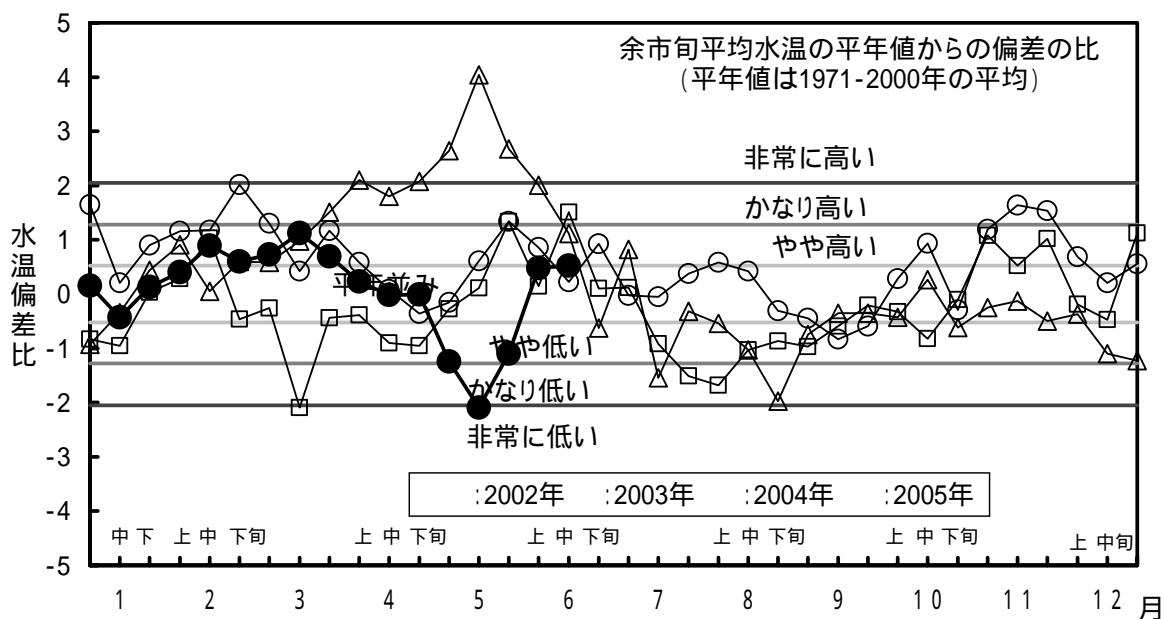
沖合冷水が接近

表面水温では知床半島まで 10 以上となっており、50m 層も知床半島まで 6 以上となって宗谷暖流が順調に流れているようです。宗谷海峡東方に表面水温 5 以下の海域があり、サハリン西岸から

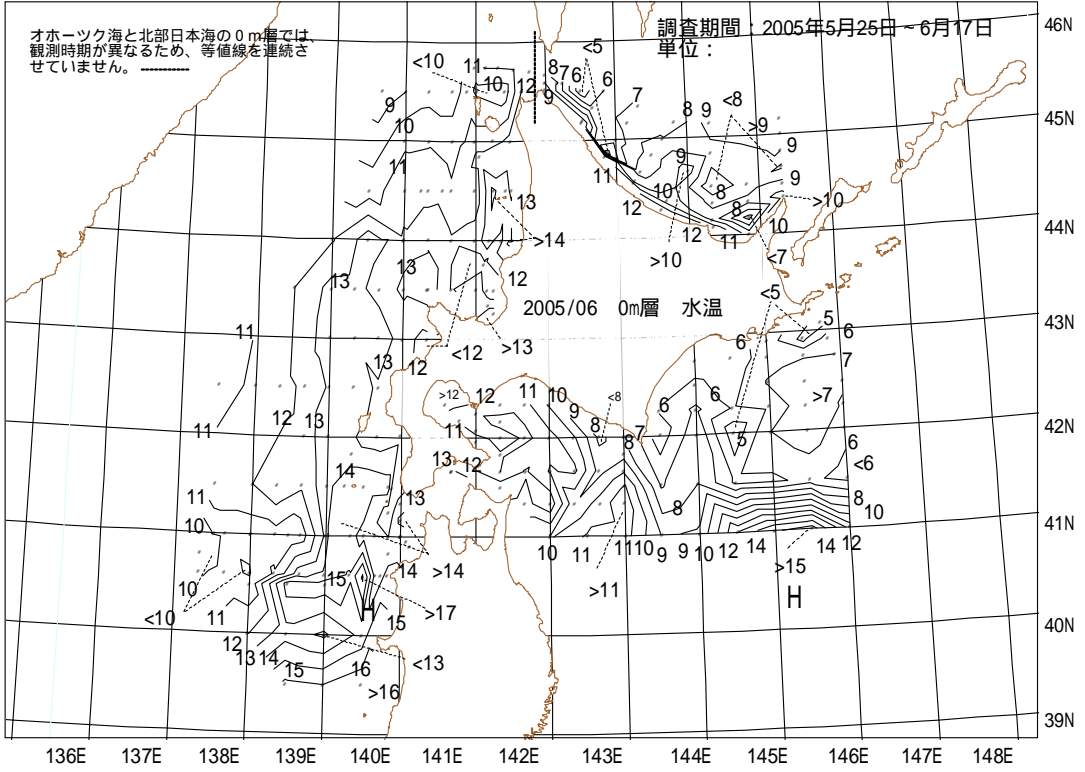
連続する冷水帯と塩分値から判断しました。一方、枝幸沖にも表面水温で5 以下の海域があり、これはオホーツク海の中冷水起源の冷水域でした。水温偏差についてみると、沖合表層で平年より高いところが見られますが、全体的には平年並みとなっています。宗谷暖流の流量の指標となる稚内 - 網走間の水位差を見ると、2月以降5月まで低めに推移しており、宗谷暖流流量は平年より少ないようです。

資料	観測期間	観測海域
青森水セ（東奥丸）	2005/5/25-5/27	（東北日本海海域）
稚内水試（北洋丸）	2005/5/31-6/7	（道西日本海海域）
稚内水試（北洋丸）	2005/6/13-6/17	（オホーツク海海域）
釧路水試（北辰丸）	2005/5/30-6/2	（道東太平洋海域）
函館水試（金星丸）	2005/5/25-6/1	（道南日本海海域）
函館水試（金星丸）	2005/6/14-6/16	（道南太平洋海域）
中央水試（おやしお丸）	2005/5/30-6/2	（道西日本海海域）
中央水試（おやしお丸）	2005/6/6-6/7	（道西日本海海域）

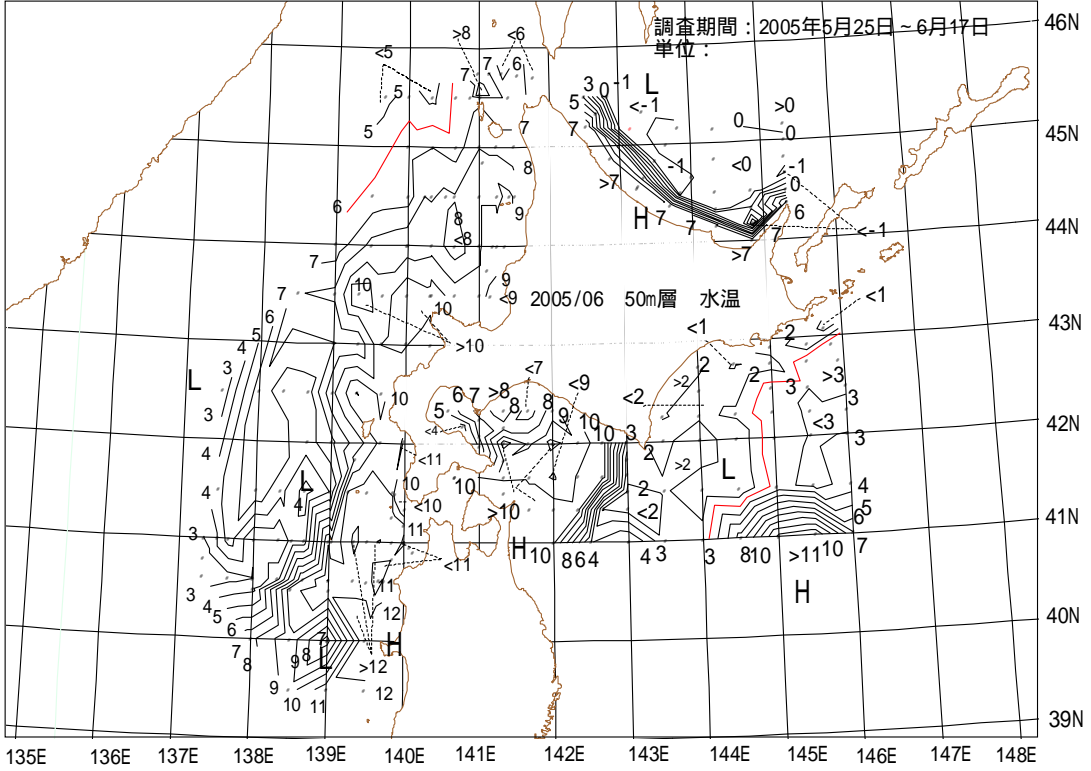
- * 1：オホーツク海の海水の融氷水を含む親潮として特に沿岸親潮という名前が付けられています。
- * 2：津軽暖流が津軽海峡から襟裳岬まで大きく張り出してから南下している状態を「渦モード」と呼びます。これに対して、津軽暖流が青森県尻屋埼からすぐ岸沿いに三陸方面へ南下している状態を、津軽暖流の「沿岸モード」と呼んでいます。



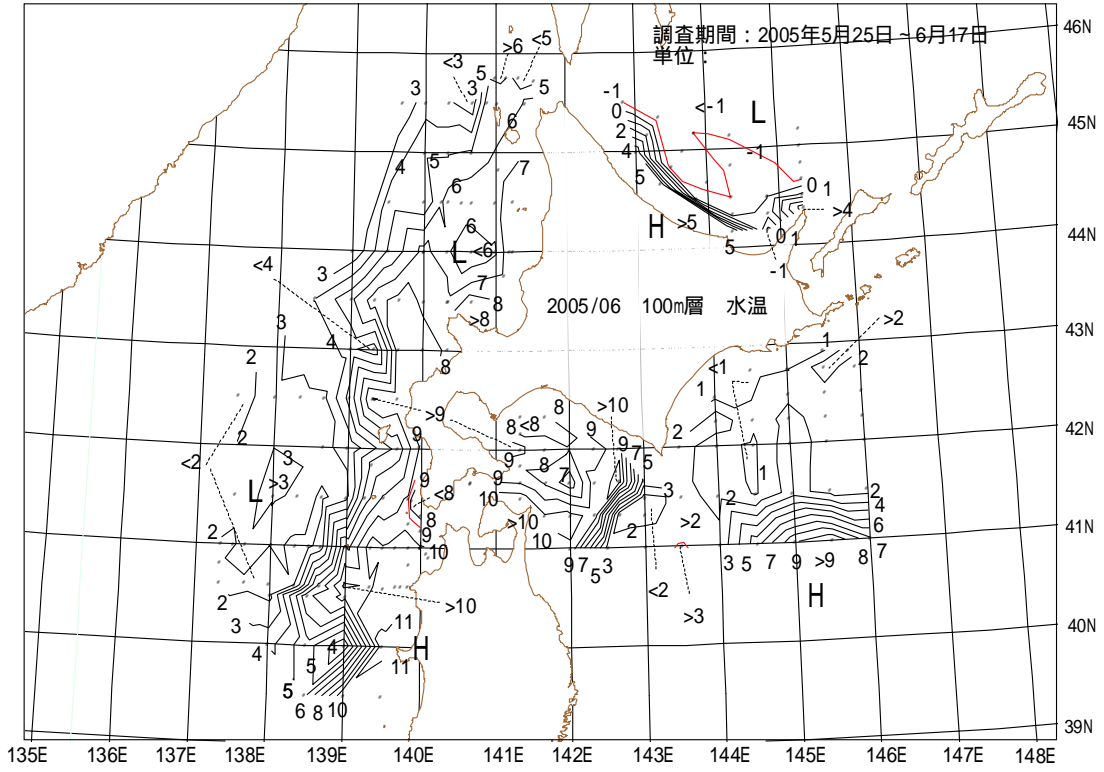
北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報

